

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の方針について、スタッフ間で話し合う機会が作れていないので、方針の共有や理解が不足している。日々のケアに方針を活かしていない状態と感じている。	方針を全スタッフが知り、日常の対応で方針を活かした対応を増やす。	①定期的(3ヵ月毎)にGH会議内で周知する。 ②方針にある“家庭的・落ち着いたある雰囲気”、“個性や主体性を大切にする”、“ご家族・地域との関係継続”、といった言葉について、スタッフの持つ印象をアンケート等で確認しながら具体的な対応や目標を話し合うこととする。	12ヶ月
2	30	夜間帯における利用者の体調不良や怪我の発生に際し、主に介護スタッフが対応する現状となっているがマニュアル整備や応急処置の知識技術が不足している。	緊急時の対応、応急処置の体制を整えることで利用者をはじめ、ご家族やスタッフにとって、より安心・安全な事業所を目指す。	①併設施設の看護師に協力してもらい定期的に応急処置等の勉強会を行う。 ②既存の緊急時対応をスタッフの意見を聴きながら見直しを行う。 ③医師・看護師との24時間オンコール体制についても、施設長と検討する機会をもつ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。